

今連盟だより

第28号

平成 24 年 3 月 1 日

題字 故綾部義彦氏

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務所 〒428-0007 島田市島730-13

二十三年度の行事、大会が無事終了出来ました事は、ご協賛者の皆様、チームの皆様のご支援、ご協力によるものと深く感謝申し上げます。

今年度は激動の一年でした。三月十一日の東日本大震災では多くの皆様が犠牲になりました深い悲しみにくれた日々でした。私達に出来る事はと、チームの皆さんと共に義援金を集めて被災地へ送つたり致しました。当県でも地震や津波の悲惨な被害はなかつたものの、計画停電により沢山の皆さんが出自由な生活を強いられ、バレーボールなど出来る環境ではありませんでした。第六回 L A W S O N カップと第四十二回全国ママさん大会は中止になりました。県内の大会は何とか開催出来たものの参加チームは激減してしまつたのが現状でした。

そんな中、日本中に勇気と希望を与えてくれたのはサッカー女子ワールドカップ優勝「なでしこジャパン」の皆さんでした。女性の粘り強さ、逆境に負けないとましさを感じました。県内のバレーボールを愛する仲間達も頑張りました。第一回全国ママさん冬季大会では、曳馬クラブが崖っぷちから這い上がり粘りに粘つて大健闘し、B組優勝を果たしました。素晴らしい快挙でした。

レシーブをし、トスを上げてスパイクをするバレーボールは仲間と仲間を繋ぐスポーツです。励まし合い助け合い、支えあつてバレーボールを通して仲間と絆で繋がっているのです。

「明日があるさ」という歌が好きですが、過去を振り向かず、今日を大切に明日に向かって翼を広げ、天空へとはばたいて生きていきたいと思います。

東日本大震災義援金
¥499,902-
皆様のご協力
ありがとうございました。



三月十一日発生の東日本大震災の影響で全国ママさんバレーボール大会が中止となり関係各社との連絡で、あわただしくスタートした二十三年度でした。そんな中でしたが、本年度の事業大会が無事終了出来ました事は、協賛各社やチケットの皆様のご支援、ご協力のお陰と深く感謝いたします。ありがとうございます」といきました。年一度当初の四月に全国選盟評議委員会に出席を致しました。被災に遭われた東北・関東の理事長さん達からお話を聞きました。「チームの皆さんと連絡が取れないんです」「ボーリもユニホームも流れました」「何もないんですよ」等々・・・でも、最後に「絶対に登録しますから待つていて下さい」の力強い言葉に、皆が涙を流しながら応援の拍手を送りました。このことがあってから、バレーボールの練習が普通に出来ること、大会が予定通り開催できることに感謝の気持ちが湧いてきました。感謝の気持ちとしての一年目、諸先輩達のアドバイス、大会会場でかけて下さるチームの皆さんとの声、本当にいろいろな場面で感謝の気持ちをいただき、それは大きな後押しとなり一年乗り切れたと思つています。本当にありがとうございました。

そして、何より私達が忘れてはならないものがあります。それは大好きなバレーボールを続ける事に理解を示してくれる家族への感謝の気持ちです。そんな気持ちを大切にしながら、これからも皆さんと共に歩んでいきたいと思っています。

岩手県家庭婦人バレーボール連盟会長 兼平トキ子
評議員 高橋 鈴子

宮城県家庭婦人バレーボール連盟理事長 新沼 喜久子

このたびの東日本大震災で被災をしました当連盟に対し、全国ママさんバレーボール連盟評議員会の席にて、多大な義援金をいただきありがとうございました。各都道府県連盟の皆様方の思いの重さに責任を感じ被災会員に早くその思いを届けたいと思いました。会員本人死亡、家族死亡、家屋全壊・半壊、一部損壊、車流出など三百人が被災しました。義援金は『御見舞金』として七月二日の総会の席で手渡しをすることが出来ました。また、全チームへの補助金と、連盟にも使わせていただきました。全国の仲間の心強い『絆』を忘れません。力強く前に進みたいと思つています。

茨城県家庭婦人バレーボール連盟
会長 穂積 徳子

絆

会長 戸塚

美代子

理事長 垣見 佳子

感謝の心でいっぱい

感謝のことば

この震災は、地震ではなく津波の被害で多くの方がお亡くなりになりました。岩手県では十一月一日現在一四〇〇名の方々が、まだ行方不明となつている現状です。

町の中は人通りも無く、夜は今だ真っ暗で歩くことをすら恐ろしいと言っています。復興も進んでいますが見えず、どこの地区を見ても見渡す限りさびた瓦礫の山です。

そんな中、被災地区のバレー登録会員一九三名のうち、残念ながら二名が津波に流され亡くなりました。一人はこれから審判員として活躍を楽しみにしていました。役員です。ご主人は未だ行方不明で子供さん三人だけ残され、今は弟さんがパパとなり面倒を見てています。その他にも子供さん、ご両親を亡くされた方もいます。家も流出し最近仮設住宅に入居しやつと落ち着きましたが、日々奔走している状況です。

今年度は県の事業としての大会はできないと思つていましたが、十月二十九日三十日の両日、県内の大会としては、一番大きな事業となる大会を、ご協賛社のご支援ご協力を頂き開催する事ができました。

その開会式の中で義援金の贈呈式を行ないました。これまで、被災された会員の現状を把握することに時間がかかりましたが、心温まる義援金を、一人一人に贈ることができました。被災された皆さんは「本当にありがたいです。」と涙を浮かべていました。ここに岩手県の被災した皆さんにお渡しできました。ご報告と、あらためてご支援と皆様の友情に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

競技委員長という大役を任命されて

競技委員長 神谷 幸子

昨年三月「県の競技委員長」という大役に任命され、「私に出来るかな」という不安を抱いての新年度スタートでした。昨年度までは、西部地区の副競技委員長として、西部地区の事を中心に競技して活動してきましたが、県の競技委員長としての役割は、東部、中部、西部、地区のことはもちろん、いそじ、ことぶきと県の家庭婦人バレーボール連盟全体のことを理解し、チームの皆様が安心して、楽しく大会に参加することができ、また、役員の皆様がスムーズに大会運営を行

うことができるよう、計画、準備することだと思つています。

今年は、新たな試みとして、メンバー表の提出方法、提出場所の変更等を行わせていただきました。

最初は、チームも役員も戸惑いがあつたように思いますが、皆様のご協力により、年度の後半の試合になると少しは定着してきました。今年度は、反省を踏まえて、競技受付がよりスムーズに、わかりやすくなるよう改善していきます。また、今後の課題として、それぞれの大会の特徴をしっかりと把握し、競技としてきちんと対応ができるよう、少しずつ努力していくたいと思います。

来年度も、チームの皆様、役員の皆様のご理解ご協力をお願い致します。

審判伝達講習会をおえて

審判委員長 斎藤 徳子

春四月、審判委員長として初めての伝達を迎えた。審判としても、指導者としても未熟な私を、多くの方々が支えて下さいました。

私がこの任期の間に審判になる人達に願つていては、誰でもどんな時でも常に平常心で線審ができるようになつてくれることです。たかが線審と侮つてはいませんか。線審がうまい人達が審判団にいることと試合が引き締まります。なにより、主審が安心して台の上にいられるのです。

どの大会でも、体が無意識にフラッギーを振らせる日が、きっとくることを信じています。

また、新しい年にチャレンジします。

バレーボール教室を終えて

指導普及委員長 伊藤 知子

中島美代子氏（旧姓広瀬）をお迎えして開催されました。今回西部地区での開催でしたが、東部地区からも大勢の参加者があり、中部地区も加え総勢百六十九名の受講生での講習会となりました。

テーマは

①準備運動

②バスの基礎練習

③守備のノウハウ

④つなぎの技術とフォーメーション

⑤アタック練習

⑥総合・チーム練習

準備運動、ストレッチからのバスの基礎をはじめ、チームプレーまで全員参加できる指導をして頂き体育館が熱気であふれました。分かりやすい指導で充実した講習となりました。

参加者から

・休みなく連続的な指導でよかつた

・実戦向きのポジション取りを取り分りやすく教えてもらつた

・明るく元気にさせてもらえるような指導

・声だしから、誰にでも出来る基本

・少人数で出来る練習方法でチームに持ち帰り、すぐ

・アタックからのレシーブで、バックのレシーバー

・の動きが参考になった

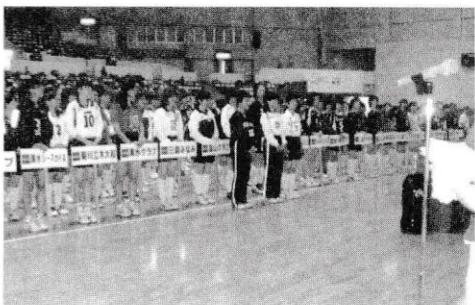
・熱血感あふれる指導で良かつた

・練習に対しての姿勢や目的を持つて行う事を教えてもらつた等の感想を頂きました。

大勢の受講生の参加有難うございました。



第35回家庭婦人バレーボール大会



富士西クラブ 川村 美佳子
創部十二年目の節目の年、コカ・コーラカップに参加して県大会一回戦での惨敗。まだまだ力が足りない！気持ちも足りない！と痛感した大会でした。ブロック、サーブ、サーブカット等課題は山積みです。

未曾有の災害があつた今年。バレーボールの出来る健康な体、家族、環境。今まで当たり前だった事がなんて有難い事だったかとそれぞれ心に刻みました。地震被害や計画停電もありました。一緒にボールを追いか咤激励してくれる仲間がいる。皆で悔しがり、喜び合いながら頑張りたい。そして、技術を磨き、身体を鍛え、県大会で勝ち抜ける強い心と高い技術を持つたチームになれるようチーム作りをして行

『コカ・コーラ セントラル ジャパンカップに参加して』

「練習は嘘をつかない」「家族に感謝」を合言葉に！
きたいです。

沼津クラブ 沼津クラブ 杉山 智恵子
この度は、特別賞受賞という思い懸けない賞を戴き光榮に存じます。

『特別賞を受賞者して』

そこから猛反撃。皆の気持ちがひとつになり、優勝を手にすることができました。最後まであきらめずに戦う気持ちの大切さを改めて学んだような気がします。これからも県大会を目指して練習に励み、全員バレーで各大会に挑戦していきたいと思います。セントラーコートを夢見て……。

最後に役員の皆様、初出場で不慣れな私達に優しく接して下さり、本当にありがとうございました。来年もお会いできる様に頑張ります。お疲れ様でした！

豊田クラブ 清水 ゆう子
二十数年ぶりの県登録。そして、初めての県大会
出場！

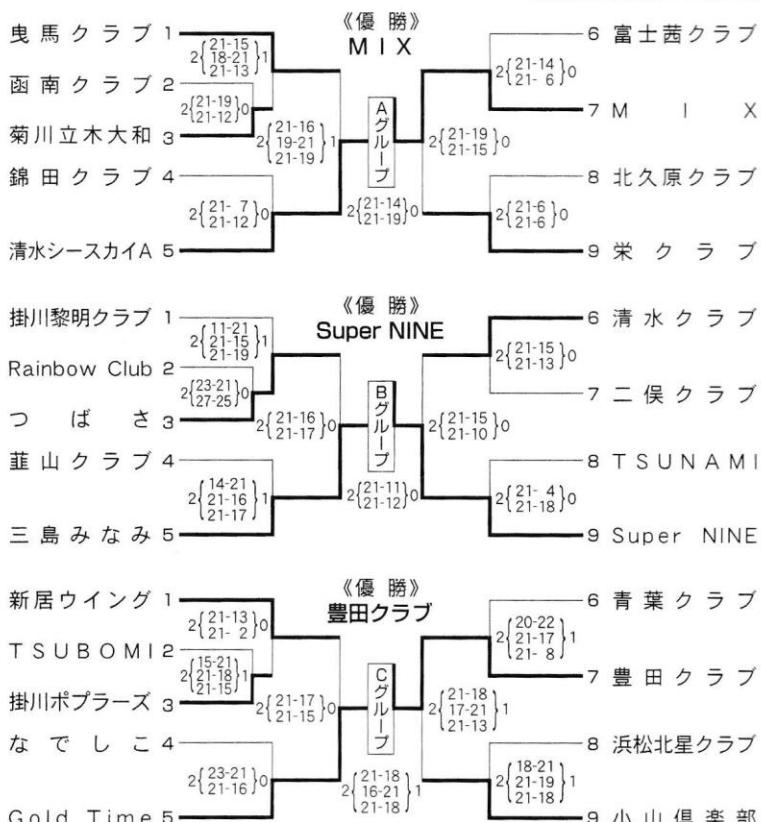
闘志を燃やして臨んだ試合はすべてフルセット、さ
すが各地区の強豪チームとあって、簡単に勝てる相
手ではありませんでした。

決勝第三セット、点差がどんどん開き“もうダメか”
と思つたその時、キヤプテンの“私達はやればできる
だろ”の一言。

三島みなみ 斎藤 崇子
練習するからは大会への出場を目標に掲げてい
る我がチーム。今回の大会も予選こそ十一人で参加
できたものの、本戦は九人ギリギリで臨むこととなつ
た。練習場所の変更が度重なつたり、様々な家庭状
況の中、全員揃っての練習もできない期間も続き、
大会直前まで個人のプレーも、チームとしても良く
ない状態でした。そんな中、先輩方のご指導もあり
練習や試合に取り組む姿勢や気持ちの甘さを再確認
する機会を得る事が出来ました。大会当日はいつも
よりボールに集中し、気持ちの入ったプレーも見られ、
チームとしてのまとまりも感じられ予想以上の
成績を收める事が出来ました。そして、大会以降メ
ンバーの練習に取り組む姿勢が変わり、少人数ながら
も活気が出てきた事は大きな収穫となり、忘れら
れない大会となつています。

コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ
第35回静岡県家庭婦人バレーボール大会

期日 平成23年9月4日(日)
会場 草薙総合運動場体育館
静岡市立東豊田中学校体育館



趣味で始めたバレーボール。こんなに長く続けられると思つてもいませんでした。

若い時は県代表で全国大会にも出場させて頂き、一生の思い出として誇りに思つております。

若いメンバーで声をかけ、ハッパをかけ、楽しく過ごさせて貰つています。これからも縁の下の力持ちになる様に心掛けて、好きなバレーボールを細く永く頑張つて続けていきたいと願つております。

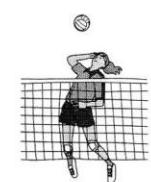
達の仲間に入り無理せず、それなりに健康保持に努め頑張つております。

毎週練習の時は、若いメンバーや達の母親・娘・姉妹の様な気持ちで声をかけ、乐しく過ごさせて貰つています。これからも縁の下の力持ちになる様に心掛けて、好きなバレーボールを細く永く頑張つて続けていきたいと願つております。

和

山田 初枝

《選手権大会に参加して》



今年こそ県大会に行こう!と目標を立て練習していました。しかし、三月の震災影響で電気が使えず練習できない日々が続きました。一つの目標だったコカ・コーラセントラルジャパンカップにも出場出来ず、県大会出場という目標を諦めかけてしまいました。その頃、産休明けの若いメンバー復帰や新しいメンバーの加入があり、今まで以上に「さくら」というチームの強さを感じました。

この度は特別賞という身に余るご褒美を頂き、とても有難く感謝しております。

チームの役員から「チームの最年長者に」ということですよ」と言われ、ちょっと複雑な気持ちもありましたが皆様から「おめでとうございます」と会釈されると自然に顔がほころんでいました。

バレーボールの経験のない私が、地域のママさんちました。結成二年目に全国大会に出場出来た事は、一生の思い出となりました。学生の頃バレーボールをやつていればよかつたと思つた事もありましたが、「何事も一生懸命前向きで」の精神で今まで頑張つてこれました。

これも素敵なチームの仲間達と一緒に健康であることの有難さと、家族の協力がある事の有難さを感じながら、楽しいバレーボールに親しんでいきたいと思ひます。

今大会の初戦相手が栄クラブに決まり、「一回戦負けだ」と試合前から我がチームは負けモード。その時「やる前からなぜ負けを決め付けるのか」と一人が言い出し、全力を尽くそうと誓つたものの、強い相手と試合をする意味を改めて考えさせられる事になりました。

初戦結果はやはりストレート負け。相手チームの入念なアップ、狙い打ちサーブ、早い攻撃: 我がチームとは全然違いました。でもなぜか皆はさわやかな顔。きっと相手チームから、それぞれが多くの事を学び得たからだと思います。

今大会では「絶対勝つ」という挑戦する気持ちを忘れないこと、失敗や負けから次の目標を持ち、日々の練習に励みたい、と思うことが強い相手と試合する意味だと教えられました。

第三十七回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

さくら 田内 理江

はないかと思いますが、より充実した大会にしたいと、役員の皆様の熱意をとても感じた大会でもありました。ありがとうございました。

掛川ボップラーズ

榎原 康子

賞というものは縁がないと思つていた私ですが、思いもよらない特別賞を頂き驚きとうれしさでとても幸せな気持ちになりました。

毎週の練習が楽しみで、家庭と仕事を調整しながらのバレーボール中心の生活サイクルです。こうして長く続けてこれたのも家族の協力と、チームメイトの支えがあつたからこそと深く感謝しております。

思い起こせば第十四回全国いそじ大会に出場する為に、チーム一丸となつて練習してきた日々が浮かんできます。そして又一つ、私の人生を豊かにしてくれました。コカ・コーラ セントラルジャパン様、役員の皆様有り難うございました。

静岡フェニックス

野澤 純子

今年度の私達にとって、本大会は大変印象深い大会となりました。もちろん、予選・県大会とともに、多くの強豪チームをやぶつて優勝できたということ

あります。それ以上にチームメートとバレーボールをすることの楽しさや、感謝の気持ちをあらためて感じる事の出来た試合が、沢山あつたからです。新メンバーを迎えての一年は、試行錯誤の連続でした。結果が思うように出せることもありました

が、確かな手ごたえを持って、また新しいシーズンに向けて努力をしていきたいと思います。

A・B・C各グループに分けての大会実施は新しい試みであり、大会運営には大変な面もあつたので



東海家庭婦人バレーボール交流大会

(全国ママさん大会中止の代替親睦大会)

8月17・18日 三重県営サンアリーナにて

掛川黎明クラブ戸塚鏡子
今年の全国ママは東日本大震災の影響で中止となりましたが、幸い私達は東海交流大会に参加させて頂きました。まだ多くの被災者の方が苦しんでいる中、大好きなバレーを思い切り楽しみ、その上Aグループ優勝という最高の結果を残すことが出来ました。コートとベンチ全員で勝ちとった優勝は格別でした。とりわけ発足当初の仲間と抱き合い喜びを分かちえる事が出来本当に嬉しかつたです。この優勝は私達にとって、とても大きな自信となり精神的にも逞しくなったように思います。さあ来年もう一度全国ママにチャレンジです。

頑張つて来いと送り出してくれた家族、発足以来支えてくれた監督・コーチに感謝の気持ちで一杯です。

大会役員や応援に来て下さった役員の皆様有り難うございました。

錦田クラブ 鈴木 美佳
今年は災害の為、全国大会が中止になり東海交流大会に変更され
出場出来る事になりました。

八月十七・十八日伊勢市、三重県サンアリーナにて試合をしてきました。創部以来県外で戦う事が目標だったので、大きいに楽しむ、大きいにハジケルそんなプレーが出来たと思います。

参加するだけでなく、決勝トーナメントに出る、を目標に練習に励んできましたが、一勝一敗と残念ながら決勝には進めませんでした。伊勢と言えば「伊勢エビ」試合の掛け声を「伊勢エビ食うぞー」と気合を入れると、食べ物のパワーは凄いです。

効果抜群！何て単純なチームでしよう、次は「松坂牛」パワー全開

でした。本当に楽しく試合が出来最高の交流大会になりました。
役員の皆様にはご尽力頂き、大会が楽しく終わ
た事に感謝します。

山取つて練習しましたが、その甲斐もなく、残念ながら決勝戦に行けませんでした。折角伊勢に来たので伊勢神宮を参拝し今後の勝利と、東日本大震災の一日も早い復興を祈願し伊勢を後にしました。

役員の皆様有り難うございました。

赤兎クラブ

片橋 牧子

掛川黎明クラブ戸塚 鏡子
今年の全国ママは東日本大震災の影響で中止となりましたが、幸い私達は東海交流大会に参加させて頂きました。まだ多くの被災者の方が苦しんでいる中、大好きなバレーリーを思い切り楽しみ、その上Aグループ優勝という最高の結果を残すことが出来ました。コートとベンチ全員で勝ちとった優勝は格別でした。とりわけ発足当初の仲間と抱き合い喜びを分かち合える事が出来本当に嬉しかったです。この優勝は私達にとって、とても大きな自信となり精神的にも逞しくなったよう思います。さあ来年もう一度全国ママにチャレンジです。

三月の東日本大震災の影響により全国ママさん大交流大会が開催され、その大会に静岡県代表として参加することが出来、とてもうれしく思います。普段県外のチームと試合する機会がほとんどありません。私達のチームは、他県のチームにどれだけ通用するのかと期待と不安で一杯でしたが、B組で優勝することができました。大変嬉しく思います。

この大会を通じて、チーム全員の気持ちが一つになれば勝てる事を学びました。同じ静岡県代表として参加したチームの皆様、大会役員の皆様方から応援をいただけました事を心から感謝申し上げます。

MIX 鈴木 美穂

お陰で以前よりも練習の集合時間も早くなり、意欲も高まり、「チームの絆の深まり」が得られ大きな収穫となりました。この経験を今後の練習や試合に生かして挑戦し続けたいと思います。

なでしこ 高橋 真澄

大会役員や応援に来て下さった役員の皆様有り難うございました。錦田クラブ 鈴木 美佳 今年は災害の為、全国大会が中止になり東海交流大会に変更され出場出来る事になりました。八月十七・十八日伊勢市、三重県サンアリーナにて試合をしてきました。創部以来県外で戦う事が目標だったので、大いに楽しむ、大きいにハジケルそんなプレーが出来たと思います。参加するだけでなく、決勝トー

です。八月十七日東海交流大会に参加しました。初めての東海大会出場で、より一層練習に励み、早くから楽しみにしていました。夏休み中、また遠方での開催との事で参加出来なかつた人もいますが、家族旅行を兼ね子供達も一緒に、車で八時間かけ伊勢に到着しました。

会場のサンアリーナは大変立派な施設で、又三重の方の話す関西弁がとても新鮮で試合に臨む緊張感を和ませてくれました。対戦は岐阜の「ひまわり」と愛知の「旭VC」。どちらも攻守の安定したチームで私達も持ち味の早いバレーで応戦しましたが、充分に力を発揮できず敗れてしまいました。

今回他県の強豪チームを見る事ができた貴重な体験でした。今後の私達のバレーに役立て、更に向上升していきたいと思います。

錦田クラブ 鈴木 美佳
今年は災害の為、全国大会が中止になり東海交流大会に変更され
出場出来る事になりました。
八月十七・十八日伊勢市、三重
県サンアリーナにて試合をしてきました。創部以来県外で戦う事が
目標だったので、大いに楽しむ、
大いにハジケルそんなプレーが出来たと思います。
参加するだけでなく、決勝トーナメントに出る、を目標に練習に
励んできましたが、一勝一敗と残
りながらも、最後まで諦めずに戦いました。

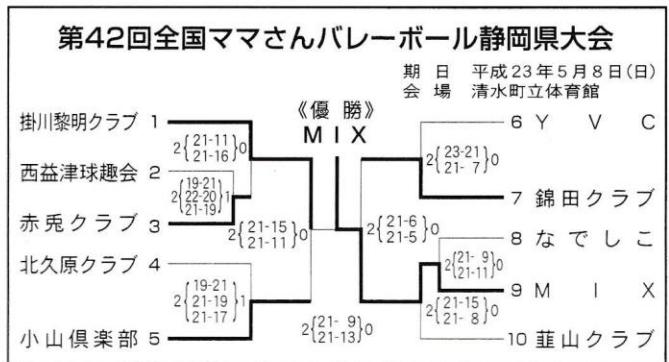
念ながら決勝には進めませんでし
た。伊勢と言えば「伊勢エビ」試合
の掛け声を「伊勢エビ食うぞー」と

励んできましたが、「一勝一敗」と残念ながら決勝には進めませんでした。伊勢と言えば「伊勢エビ」試合の掛け声を「伊勢エビ食うぞ」と気合を入れると、食べ物のパワーは凄いです。

効果抜群！ 何で単純なチームでしょうか、次は「松坂牛」パワー全開

北久原クラブ 定し、チーム全員大喜びでし
勢市。御殿場市から約四百キ
。そして御殿場市は富士山の 鮎澤由里

今回の大会は東日本大震災による計画停電により
体育館が使えず、殆ど練習出来ないまま臨んだ予選



第1回全国ママさんバレー冬季大会

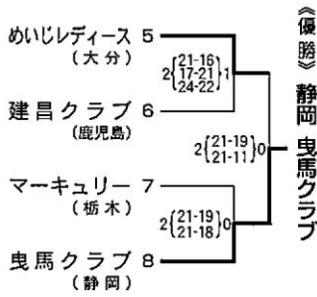
12月2日~5日 福岡市市民体育館・福岡市博多体育馆

曳馬クラブ Bブロック 優勝 おめでとう!

予選大会で優勝した日からもう戦いは始まつた。切符の手配から始まり、出来るだけ各人の負担が少くなるようにと、スタッフとしてメンバーの為にしてあげられる事にまず専念した。自分達の力を発揮できる様に。

そして迎えた冬季大会、メンバーの気合は上々、一日目のグループ一勝、緊張していいはずなのに動きやコンビがぎこちない。グループ一勝一敗で一日目は終了。一日目精一杯やろう。一生懸命やろう。諦めずにやろう。仲間を信じよう。勝敗にこだわらず楽しもう。この日も一勝一敗。通算一勝二敗の成績を収めた。晴れ晴れとした最終戦での勝利にはメンバー全員で喜んだ。そこに朗報だ!! 戻った結果、決勝トーナメント進出の報告があり、頑張ったご褒美を頂き皆で涙した。決勝トーナメントでは一日目のリベンジを果たした事のない感覚。曳馬クラブのメンバーが一つになつたと実味な経験をさせて頂けたことに感謝し、これからも頑張ります!

決勝トーナメント戦 Bブロック



まずは日々の練習、全国大会に行くにあたつて協力していってくださいであります。

東海大会に初めて参加してレベルの高さを痛感しました。サーブの威力とボーラルを拾う執念はどのチームもすごくて一試合目は自分達の力を出す事が出来ませんでした。二試合目は、このままでは終われないという気持ちで戦い三セットで勝つことができました。静岡県の役員の皆さんと他のチームの応援もすごく力にありました。私たちで向かつた大会でした。すべてを段取りチームの為に動いてくれたメンバーになりました。役員の皆様ありがとうございました。

東海家庭婦人バレーボールいそじ大会

十一月六日
岐阜県山県市にて

私はこのチームに加入して五年、全国大会を目指して頑張つてきましたが、全国大会当日の出発、万全な体調で臨めなかつたかもしれません。サーブも含めよ

今年も失敗!でも気持ちを切り替えて東海を目指しやつと切符を手に! 東海大会を楽しもうと岐阜県・山県市へ。予選二試合とも三セット。予選敗退ながら六セットができみんな充分楽しむ事ができました。

大会役員の皆様、そして何より東海大会に笑顔で送り出してくれた家族に感謝します。

有り難うございました。

球趣会シニアB 和樂 椿葉 みち子 渡辺 まさ子

〈平成23年度 県大会 成績〉

月日	大会名	1位	2位	3位
4/3	優勝大会	Aグループ 栄クラブ	Super NINE	MIX
		Bグループ 静岡フェニックス	静岡西豊	YVC
		Cグループ プリオール	掛川黎明クラブ	西益津球趣会
5/8	全国ママさん静岡県大会	MIX	掛川黎明クラブ	錦田クラブ
9/4	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ	Aグループ MIX	清水シースカイA	栄クラブ
		Bグループ Super NINE	三島みなみ	清水クラブ
		Cグループ 豊田クラブ	新居ウイング	小山俱楽部
7/3	東海大会県予選	MIX	清水シースカイA	静岡フェニックス
9/23	全国ママさん冬季大会県予選	曳馬クラブ	MIX	掛川飛翔クラブ
11/5	選手権県大会	Aグループ 曳馬クラブ	栄クラブ	清水シースカイA
		Bグループ 静岡フェニックス	MIX	菊川立木大和
		Cグループ 雄踏フレンズ	オレンジクラブ	豊田クラブ
6/9	全国いそじ大会県予選	曳馬TNP	W.B.K	浜松なごみA
6/27	東海いそじ大会県予選	御殿場クラブ	・ 格	・ 球趣会シニアB
			・ 和 樂	

主催・後援・協賛各社 平成二十三年度	静岡県家庭婦人バレーボール優勝大会	・サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社
	第42回 全国ママさんバレーボール静岡県大会	・朝日新聞静岡総局 ・静岡朝日テレビ ・(財)静岡県体育協会 ・静岡県教育委員会
	コカ・コーラ セントラルジャパンカップ 第35回 静岡県家庭婦人バレーボール大会	・コカ・コーラ セントラルジャパン(株) ・テレビ静岡 ・産経新聞社静岡支局 ・中日新聞東海本社 ・静岡リビング新聞社 ・静岡県教育委員会
	第37回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会	・静岡朝日テレビ ・朝日新聞静岡総局 ・静岡県教育委員会
	第1回 全国ママさんバレー冬季静岡県予選大会	・朝日新聞静岡総局 ・(株)ローソン ・静岡県教育委員会

中山記

感謝しています。
「温かい空間を持つ」
私は今までいろんな人に助けられてきました。
きつんだなど改めて気付き、「人でありたいと実感しています。」

「東日本大震災」まるで映画の場面の
様な衝撃的な映像にくぎつけになりました。
少しではありますがボランティアとして協力し、それまで当たり前に感じていた物のありがたみが身にしみて分りました。

「あんな災害に遭った人達が何でもない事に『ありがとう』とおっしゃる笑顔！」
勇気と希望を持つと笑顔！ あります。
うでないのが勇気、逆に励まされました。
私は今までいろんな人に助けられてきました。
きつんだなど改めて気付き、「人でありたいと実感しています。」

* * 編集後記 * *

新規登録チーム紹介

★西部

- ・新居トムズ
- ・スーパードライ
- ・豊田クラブ
- ・赤兎クラブ
- ・富塚クラブB
- ・オレンジクラブ
- ・曳馬TNP
- ・高部シスターズ
- ・ジュピター

《いそじ》

《ことぶき》

